

**令和元年度周南市地産地消推進協議会  
地産地消普及・啓発活動推進プロジェクト専門部会 議事録**

【日時】令和元年8月9日（金）10時~11時

【場所】周南市役所本庁舎防災対策室

- ・出席者 13名（内代理3名）  
松富会長、藤村委員、河村委員、石川委員、有吉委員、山本委員、合田委員、原田委員、梅田委員、中野委員、久野委員（代理小野氏）、宇高委員（代理高橋氏）、河津委員（代理神杉氏）
- ・委任状提出 6名  
山田委員、山中委員、安達委員、毛利委員、荒美委員、橋野委員
- ・事務局 4名  
六郎万課長補佐、村上係長、三戸、通山
- ・傍聴者 0名

#### 1. 開会

- 事務局 本協議会設置要綱第6条第2項により、「会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。」となっております。本日の会議は、出席者13名、委任状の提出6名により、会議が成立していることを報告いたします。

#### 2. 会長あいさつ

#### 3. 部会長の選任

- 事務局 委員の皆さまの互選により部会長を選任したいと思います。ご意見はありますでしょうか。
- 委員 （意見なし）
- 事務局 事務局案として、合田委員にお願いしたいと思います。ご承認くださる方は、拍手をお願いします。
- 委員 （拍手により承認）
- 事務局 では合田委員、よろしく申し上げます。

#### 4. 議事内容

##### 第1号議案 事業報告（道の駅ソレーネ周南5周年祭、市役所新庁舎完成記念式典、商談会）

- 事務局 （第1号議案について説明）
- 部会長 委員の皆さま、ご質問はありますでしょうか。
- 会長 横浜・大阪での商談会について、販路の拡大に繋がりそうな話がありましたか。
- 事務局 鹿野ファームからソーセージやハムの「肉のちょいつま」という商品の試食を出したところ、数社に興味を持っていただき、販路の拡大が見込めそうです。

- 事務局 地域商社やまぐちを通しての取引になります。商談会後、実際に契約に結び付いたという話も伺っております。

**第2号議案 今後の事業説明（周南地域うまいっチャフェア、親子料理教室&バーベキュー、出水市との連携事業、宇部フロンティア大学短期大学部との商品開発、農商工連携フェスタ、レシートラリーにおけるアンケート実施、第3次周南市地産地消促進計画）**

- 事務局 （第2号議案について説明）

○部会長 委員の皆さま、ご質問はありますか。

□藤村委員 周南地域うまいっチャフェアについて、チラシを見ると、しゅうなんブランドに認定された商品がいくつか出ているように見受けられます。しゅうなんブランドを決める際、ロゴマークについても随分検討したように思いますが、チラシにロゴマークを付けないと、しゅうなんブランドの認知に繋がらないのではないのでしょうか。

- 事務局 今回うまいっチャフェアに参加する市町は、周南市、下松市、光市、田布施町の4市町ですが、ロゴマークを作っているのは周南市だけということです。全体的なバランスを見る中で、周南市だけロゴマークを付けることは難しいということでした。よって、現地でのポスター等の掲示により、ロゴマークやしゅうなんブランドのPRを行うことにしました。

□藤村委員 下松市でもブランドを作るという話を聞いておりますが、現時点でそこまでは至っていないということですね。

- 事務局 そうですね。ロゴマークについては、周南市という市名の下や、商品の写真の右下等、検討させていただきましたが、難しいということでした。現地でしっかりとPRしてまいります。

○部会長 地場産業振興センターが認定している「しゅうなんものづくりブランド」というものがあり、こちらにもロゴマークを作っております。商品によっては、しゅうなんブランドとしゅうなんものづくりブランドの両方に認定されているものがあり、同じ商品に2つのロゴマークが付くこととなります。他の市町とのバランスも考え、ロゴマークについては、チラシには掲載しておりません。

下松市についてはブランドは作っていないようですが、光市が、「光セレクション」というものを去年から今年にかけて作っているようです。

□原田委員 チラシには極（きわみ）の掲載もないようですが、こちらもしゅうなんブランドと同様の理由でしょうか。

- 事務局 極（きわみ）に関しては、事務局が見落としとしておりました。現地でしっかりとPRしてまいります。

○部会長 チラシの表面に須金の梨・ぶどうや鹿野ファームの商品、ふぐが掲載されております。極（きわみ）に関してはこちらに掲載すべきでしたね。

- 事務局 はい。現地でPRしてまいります。

□委員 （親子料理教室&バーベキューについては意見・質問なし）

□藤村委員 出水市との連携事業について、須金の梨・ぶどうや鹿野高原豚が出品されるようです

が、鹿児島といえば焼酎のイメージが強いと思います。鹿児島の方は、お酒といえば焼酎です。周南市にも良い日本酒があるので、日本酒をたくさん持って行ってほしいです。

- 事務局 地産地消推進協議会の事務局の者だけで行くとすると、酒販の関係がありますので、出水市と調整しようと思います。ご意見ありがとうございます。
- 委員 (宇部フロンティア大学短期大学部との商品開発については意見・質問なし)
- 会長 6次産業化・農商工連携フェスタについて、昨年度実施した際の課題として、屋内への誘導ということがありましたが、屋内と屋外の参加者はそんなに違うのでしょうか。
- 事務局 昨年度のチラシを見ると、屋内でのしゅうなんブランドの認定商品の販売に関するPRが弱かったため、今年度はチラシの活用や、現場で屋内へ周遊できる仕掛けを作りたいと考えています。学び交流プラザのアリーナが奥まった場所にあるため、入りにくいということも感じています。
- 会長 昨年は、宇部フロンティア大学短期大学部と開発した新商品について、屋内で試食できる旨をステージで宣伝しましたが、あまり効果がなかったのでしょうか。
- 事務局 試食に関しては、とても人気だったと聞いております。
- 部会長 もともと新南陽の物産展は、会場に空間があり、出店者も詰まっていない状態で人も少なかったですが、それに比べると昨年は人が入っていたように感じます。さらに人が増えるような取組みが必要ですね。
- 委員 (レシートラリーにおけるアンケート実施については意見・質問なし)
- 委員 (第3次周南市地産地消促進計画については意見・質問なし)

#### その他

- 事務局 (しゅうなんブランドシールによるロゴマークの表示状況について報告)

## 5. 閉会